タウンニュース®

鶴見大学附属中学校・高等学校
創立100周年特別号

■発　行：株式会社タウンニュース社　横浜中央支社　https://www.townnews.co.jp
■編集室：〒231-0033 横浜市中区長者町2-5-14 セントラルビル2F　TEL：045-227-5050（代）FAX：045-227-5051

2024年
（令和6年）
9月10日(火)号

発行責任者：宇山 知成
支　社　長：北原 健祐
編　集　長：土谷 晃

祝 創立100周年
鶴見大学附属
中学校・高等学校

鶴見大学附属中学校・高等学校が創立１００周年

禅の教えに基づき、自立の精神と心豊かな知性を育む

禅の教えに基づく教育を実践

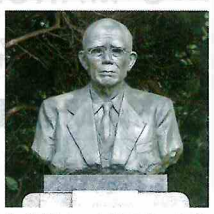
自立の精神と心豊かな知性育む

仏教、特に禅の教えに基づく人格形成を建学の精神とし、「自立の精神と心豊かな知性を育み国際社会に貢献できる人間（ひと）を育てる」を教育ビジョンに掲げる同校。

生徒の主体性を育む「教科エリア＋ホームベース型校舎」や知的好奇心を刺激する「メディアセンター」、ローカルな視点を持ったグローバル・カリキュラムなど、先が見えない世の中だからこそ、幸せに生きていくために「自分が選んだ場所・与えられた場所で、自分らしく生きる」教育を実践する。

また、情報過多と言われる時代の中、自分と向き合うひとときを大切にし、毎年1月に開かれる「耐寒参禅会」では、参加を希望する生徒たちが朝早くから集まり、總持寺で坐禅を行う。

創立100年を迎えても初代校長・中根環堂の教え「感謝を忘れず真人となる」の精神を大切に、生徒たちが日々勉学に励んでいる。


初代校長・中根環堂の銅像

沿革

大正13年（1924）	光華女学校設置
大正14年（1925）	鶴見高等女学校設置
昭和12年（1937）	光華女学校を鶴見第一女学校に校名変更
昭和22年（1947）	新制鶴見女子中学校を設置
昭和23年（1948）	鶴見第一女学校、鶴見高等女学校を合併統合し、新制鶴見女子高等学校を設置
平成19年（2007）	鶴見女子中学校・高等学校を鶴見大学の附属校とし、鶴見大学附属鶴見女子中学校・高等学校に名称変更
平成20年（2008）	共学化し、鶴見大学附属鶴見女子中学校・高等学校を鶴見大学附属中学校・高等学校に名称変更
令和6年（2024）	**学校法人総持学園創立100周年**

ごあいさつ

鶴見大学附属中学校・高等学校 校長
岸本力也

本校は1924年4月、大本山總持寺開祖瑩山禅師六百回大遠忌の記念事業として、光華女学校の運営を引き継ぎ、翌1925年2月鶴見高等女学校が創立されたことに始まります。そして今年、創立100周年を迎えることができましたのも、地域の皆様、卒業生の皆様、諸先輩方の多岐にわたるご支援の賜物であると感謝申し上げます。

初代校長の中根環堂は、常日頃「随所に主となる」人になりなさいと教えました。「自分の置かれた場所や状況の中で、心を込めて勤め、励み、主体的に行動し、相手を最善に生かしなさい。そうすれば、自分が生かされ、光る。そのことに一所懸命になれば、真実が、そこに、現れてくる」ということです。この教育理念は、女子校から共学校に変わった現在でも、一日たりとも絶えることなく受け継がれています。

先が見えないこの世の中、幸せに生きていくために、笑顔を忘れずに自分らしく輝き、自分の目標に向けて日々の学習や学校生活を送り、どのような場所や状況でも最善を尽くせる人材の育成に邁進していきたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。

1924 総持学園 100th Anniversary 2024

TSURUMI University Junior & Senior High School
学校法人 総持学園
鶴見大学附属中学校・高等学校

〒230-0063　横浜市鶴見区鶴見2-2-1
TEL.045-581-6325　https://tsurumi-fuzoku.ed.jp

●JR京浜東北線「鶴見」駅より總持寺境内を通って徒歩15分
●京浜急行「花月総持寺」（旧：「花月園前」）駅より徒歩10分
●JR・東急「菊名」駅より臨港バス15分「亀甲山」下車徒歩7分
●東急「綱島」「新綱島」駅より臨港バス20分「亀甲山」下車徒歩7分